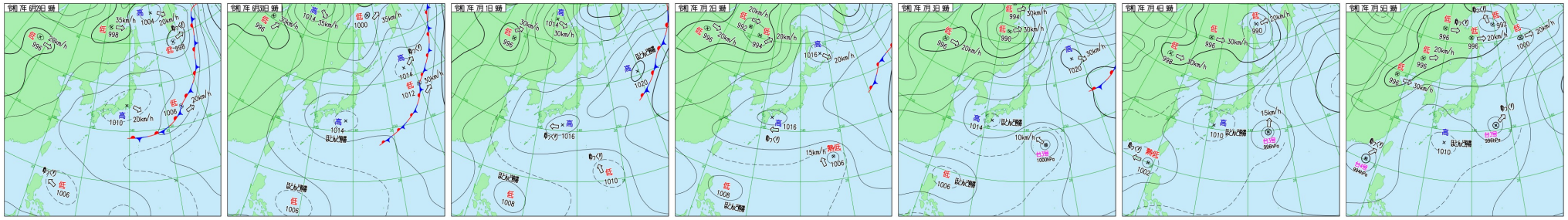
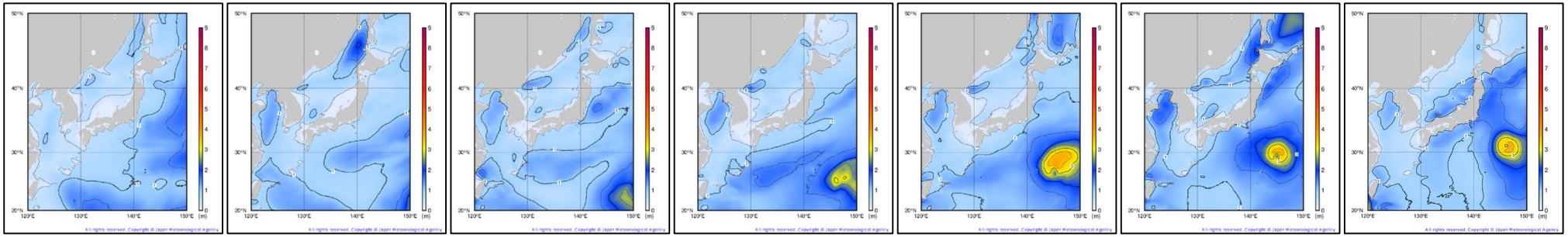
海況レポート【日本域版】　2025 年 7 月 9 日発行

株式会社　サニースポット

■天気図と沿岸波浪図（6 月 29 日～7 月 5 日　※毎日午前 9 時を掲載）



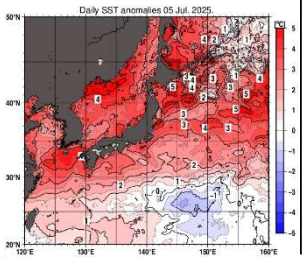


■気圧配置と波

6 月 29 日～7 月 1 日にかけて、本州付近は移動性の高気圧に覆われた。日本周辺海域の波は波高 1m 以下で穏やかに推移した。2 日、小笠原近海で熱帯低気圧が発生。熱帯低気圧周辺の小笠原近海で波が高まり、夜は波高 3m に達した。3 日午前 3 時、熱帯低気圧は小笠原近海で台風 3 号となり、北よりに進んだ。3 日は小笠原の東で波高 4m を超え、しけた海域があった。一方、本州周辺海域では波は穏やかに推移した。4～5 日、台風 3 号は日本の東を北上。台風周辺では波高 3m 前後。本州付近は台風の影響を受けず、穏やかな状態が続いた。

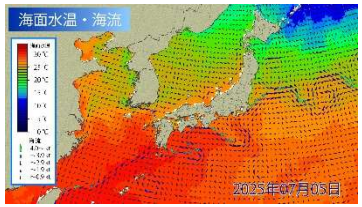
■海面水温

日本海域の海面水温は、北部や中部の大陸側で平年よりかなり高く、最大で 6℃高かった。西部でも平年より高い海域が拡大した。東シナ海も平年よりかなり高い海域が拡大し、最大で 4℃高かった。太平洋側は黒潮が接岸する四国沖～潮岬沖で平年よりかなり高かった。三陸沖も平年よりかなり高く、最大で 5℃高くなった。北海道南東方沖やオホーツク海南部も、かなり高い状態が継続。オホーツク海南部では最大で 5℃高くなった。



■海流の予想

黒潮は、九州東岸では引き続き離岸し、足摺岬では離岸と接岸を繰り返す。室戸岬では引き続き接岸するが、次第に離岸。潮岬では引き続き接岸。潮岬沖を東に流れ、東海沖の最南位置は 32°N、139°E 付近となる。伊豆諸島付近では八丈島の南を流れるようになる。房総半島では引き続き接岸するが、次第に離岸。親潮の南限位置は 148°E 以東に後退。親潮の面積は平年よりかなり小さい。対馬暖流の勢力は平年より強いか、かなり強い。



無断転載を禁じます。掲載図の一部は気象庁より引用・加工。